

## 第6回吹田市政策会議開催結果について

日時:平成27年8月11日(火)17時00分から17時30分

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員7名の出席

(市長、太田副市長、教育長、危機管理監、総務部長、行政経営部長、こども部長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
留守家庭児童育成室の運營業務委託拡大について	こども部
○審議内容と結果	
<b>【案件概要】</b> 留守家庭児童育成室(以下「育成室」とします)における指導員の人材確保・育成の課題を解消し、対象学年拡大等の事業拡充を進めていくため、全36育成室の3分の1にあたる12か所の運営を民間事業者に業務委託する。 既に平成27年4月新設の千里丘北育成室は委託により運営しているため、今後、平成28年度に5か所、平成29年度に6か所の育成室を運營業務委託する。平成28年度の委託対象は、山一育成室、山三育成室、西山田育成室、津雲台育成室、青山台育成室。	
<b>【所管部の考え方】</b> 小学校3年生までを対象に事業を実施している現状においても指導員の確保・育成が非常に困難となっており、事業水準を維持しつつ担い手を確保して、対象学年拡大等の事業拡充を図って行くためには、民間事業者のノウハウと活力を導入する必要がある。	
<b>【審議事項】</b> (1)育成室の運營業務委託を12か所に拡大していくことについて。 (2)平成28年度及び平成29年度に委託する育成室の選定について。	
<b>【審議結果】</b> こども部児童育成課から資料に基づき説明があった。その後、質疑応答があった。	
質問…今年4月から本市として初めて民間委託を行っている千里丘北小学校の実施状況はどうか。 回答…良好な保育の提供が確保されており、今年6月に実施した保護者アンケートでも高い評価をいただいている。 また、他市においても民間委託を行っている事例が多数あり、今回の委託についても本市において事業実績のある社会福祉法人及び学校法人を事業者の条件としており、問題はないと考える。	
質問…9月補正予算の具体的な内容としてはどうなっているのか。 回答…5施設の引き継ぎ保育委託料、施設整備・補修費等として13,030千円を計上予定。また、債務負担行為として平成28年度～30年度までの3年間の委託料(365,130千円)についても提案予定である。	
質問…委託する目的は何なのか。 回答…公立による直営と委託との経費的な違いはほとんどないことから、経費削減のために行うものではない。今後、対象学年の年限延長を実現させるために必要な指導員の確保が困難なことから行うものである。 現状の直営の運営体制としては、正職等のフルタイムでの指導員の雇用ではなく、勤務日数・勤務時間等の制約がある非常勤・臨時雇用員となるため、保育士や教員資格者の需要が高まる中、その確保が困難なうえ、雇用後の定着率も低いことから、さらなる人員の確保は困難である。現に平成27年度については既に12名の欠員が生じている。	
質問…民間も本市と同じ状況ではないのか。 回答…民間は常勤採用や柔軟な雇用形態が取れることが考えられることから、本市よりも雇用条件としてはよく、人員の確保ができるかと考える。	
指示…平成30年度の小学校6年生までの年限延長に向け、委託の留守家庭児童育成室も含めサービスの質を低下させないこと。	
まとめ…本案件については承認された。9月定例会に向けて手続きを進めることとする。	